

# 農業大学校を木造で建設

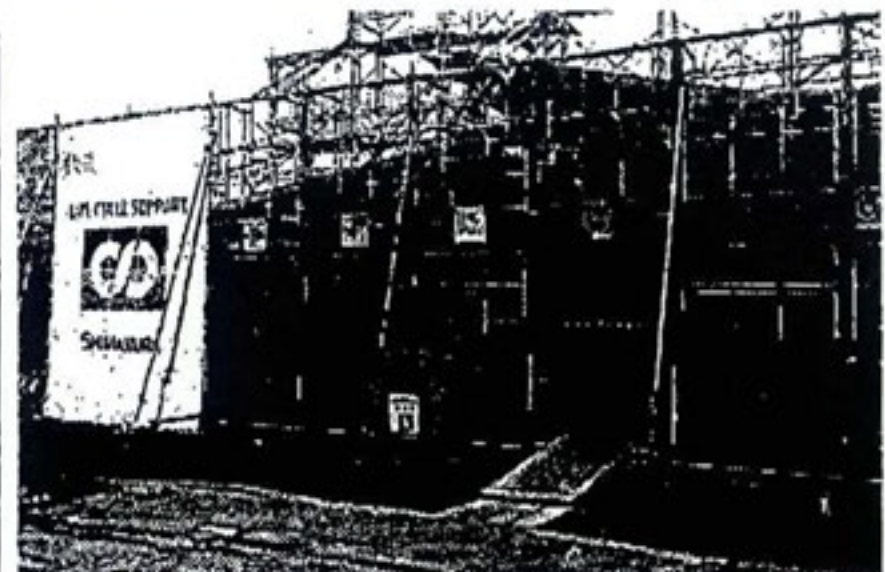
## 1000㎡規模の物件を97%県産材で

### 埼玉県・校舎

埼玉県は、RC造、S造)の学校後、埼玉県では初めて鶴ヶ島市にある施設を建設している。企画・設計された建築する埼玉県農業 9棟に分棟すること物として注目されている。大学校を熊谷で耐火などの制限を極める。

15年4月の開校を目標に、13社の敷地に敷地造成と建築を同時に進めている。22棟で構成される校舎群のうち、木材利用促進法施行成される校舎群のうち、80

ち、「センターソール」の通路棟と各施設の「ン」という本館施設間に、RC造、S造のと、9棟を建設している。実験棟、メディアアギヤラリ



県産材を使った構造用集成材など使用した

#### 区画を設ける。

学生寮は在来工法、他はKES構法を採用した。各棟は金属系の勾配屋根を基本とし、土の素材感を持った外装材で統一し、外装材の一部に木材を使用する。内部は木架構を積極的に見せる計画として、床、壁に使用した県産杉を積極的に見せる木の風合いを生かした意匠デザインを採用する。

区画を設ける。材は、県内の森林組合(こだま、埼玉県中央部、秩父)から丸太を供給し、吉田木材工業、協同組合彩の森と、協同組合遠野グループで集成材にして納入している。

現在は、多目的講堂など一部を除いて、木材は、県内の森林組合(こだま、埼玉県中央部、秩父)から丸太を供給し、吉田木材工業、協同組合彩の森と、協同組合遠野グループで集成材にして納入している。

設計は、三四五建築研究所、施工は島村工業、古郡建設、時田工業店など11社が担当する。

県産杉・桧などの木